

126」2の 広場

2023. 1

2023年はSTOP!水戸黄門

院長 川並 透



新年あけましておめでとうございます。旧年中は12月28日に各職場をまわり、職場がしっかりと整理整頓されていること、職員がきびきびと職務を遂行しておられることに安心しました。誠にありがとうございます。

さて、みなさんの職場のお邪魔した後に病棟にむかうと、入院患者さんは水戸黄門の再放送を楽しんでいます。奥羽路を旅する黄門様一行は出羽の国に入りました。なにやら不穏な動きが。助さん格さんは、破乱巢面怒ではないかと心配です。番組開始30分後くらいで、ご老公は「助さん、格さんもう少し様子を見ましょう」と言うんですね。ちょっと待て、水戸黄門。すぐに止めないと。なのに、番組開始40分くらいで、由美かおる演じるお銀の入浴シーンに。のんびり温泉につかってる場合じゃない！stop！水戸黄門！様子を見てる時間はないぞ。番組最後の10分間は助さん格さんが活躍して黄門さまのお裁きが下る。でもさ、様子を見ていたせいで、殿の前で責められた勘定奉行は切腹しちゃうじゃないか。父ちゃんの借金をかえせない町娘は越後屋に手籠めにされたじゃないか(放送10回に1回くらいね)。破乱巢面怒ではないかと感じたら様子を見てちゃいけないよ、ご老公。

2023年の山形病院はパワハラ、虐待について完全に予防をいたします。江戸時代は、破乱巢面怒の罪は打ち首だったそうです。現代はもっと恐ろしいです。インターネットを通じて本人の名前だけでなく、配偶者の名前、勤務先、子供の学校まで知れ渡るので。パワハラ、虐待を起こすと、あなたは離婚、娘は破談、息子は退学、親は村八分。感情が昂り、怒鳴りつけそうだ、叩いてしまおうだというときは、怒声罵声の代わりにその場でヒドイよ、ツライよと言いながら号泣してくださいね。必ず皆さんを助けに行きます。



ミッション

・患者さんに優しく信頼される医療で社会に貢献します。

ビジョン

- ・神経難病(てんかんを含む)、重症心身障がい、リハビリテーション、結核、高齢者に対して高質な医療を提供します。
- ・医療連携を密にして地域に開かれた医療を目指します。
- ・良き医療人として知識・技術と人間性を養い常に自己研鑽に努めます。
- ・医師、看護師等の人材を確保し健全な経営基盤を構築します。

目次

- コロナ3年目のお話 2・3
- 11・12月誕生会 4
- 永年勤続表彰/誓いの式 5
- 職場紹介/料理コーナー 6
- 年男・年女 7
- 外来担当表/編集後記 8

見えなくなっているコロナ

副院長 宇留野勝久

見えなくなったとはどう言う事か。まずオミクロン株になり、毒性が弱くなった。ウイルスは毒性が強いと宿主が死んでしまい増殖できなくなるので、結果的に毒性の低く感染力の強いものが優勢になります。更に、複数回のワクチン接種や感染による免疫の獲得で重症者が減っている(最も多い時の1/4)。感染しても症状が出ない人も多いようです(ステルス化)。また、現在クラスターの70%は高齢者施設、20%が医療機関ですが、逆に、それ以外の人たちは感染しても症状が無く分かりません(数から言うと若い世代はクラスターどころか蔓延)。クラスターが見えるのは、感染すると症状の出る人が集まっているからです。重症者の70%が高齢者なので、感染者が多い割には重症で入院する人は学校や職場には居ない(見えない)。これが死者になると、オミクロン株になってからは70歳以上が90%です。つまり、40代までの核家族と一人暮らしの学生や若い社会人では身近にコロナで重症化する人は居らず、感染してもインフルエンザ程度で済んでいるのです。

一方で、早くから何度もワクチンを接種している高齢者が何故重症化するのか。多分、高齢者では抗体がすぐ消えてしまうためです。ワクチンでは感染を防ぐ事はできず症状を軽くするだけです。その効果が、高齢者では3~4ヵ月しか続かない。また、不織布マスクは呼吸が苦しいので、高齢者はちゃんと付けていない人が多い。持病を抱えている人が多いのも一因でしょう。直接コロナが原因ではなく持病の悪化で亡くなる人が多いのもオミクロン株の特徴です(超過死亡)。

11月に行われた抗体保有率の結果からは、感染者数が人口の25%を超えると集団免疫が獲得され感染の拡大は止まるようです。山形県は累計感染者が20万人を超えたところなので、もう5万人位増えると収束に向かうと予測されます。それにはあと2ヵ月位かかりそうですが、春にはコロナも先が見えそうです。

コロナ3年目

感染管理認定看護師 千葉 哲子

2020年3月31日に、山形県第一号のCOVID-19感染者が報告されてから3年が経過しました。COVID-19感染症は、飛沫感染する事、接触感染は稀であることがわかり、その特徴を捉えて対応をしています。もう一つの特徴は、インフルエンザウイルスと比較して感染力が強いことであると思います。このことは令和4年8月発生した当院のクラスターの経験からも言えます。クラスター発生時は、全職員が衝撃を受け、心が揺れましたが全職員で力を合わせて対応し、ひとりの死亡者を出すことなく9月初めに収束することができました。患者ご家族様には、大変ご心配をお掛けしました。

看護師は、感染防止策である「標準予防策」と「感染経路別予防策」を学んでいます。血液・体液、排泄物・嘔吐物などの湿性生体物質に触れる、曝される可能性がある看護処置をする際は、手袋・ガウンなどの防護具を装着します。このCOVID-19についても同じく「標準予防策」と「感染経路別予防策」で対応することで防止することが可能です。しかし、COVID-19感染症は、流行はじめ頃は感染経路がはっきりとわからなかったこと、感染したら命が危ぶまれる、周りから差別されることから感染への恐怖が高まったことが伺えます。

今後5類に引き下げられたとしても、この世の中からCOVID-19ウイルスは、残念ながら無くなりません。しかし、適切な場面で正しくマスクを装着することで感染症は、防御できることがこの3年間で認識できたのではないのでしょうか。今こそ、COVID-19を正しく恐れて正しく防御していきましょう。

これからも職員一丸となって感染防止に努めていきます。

今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

11・12月誕生会

療育指導室 保育士 高橋 舞

虫の鳴き声もいつしか消え、落ち葉が風に舞い始めた11月。

2病棟は療育棟にて、5名のお誕生者のお祝いを行いました。日本中がサッカーワールドカップに盛り上がる中、2病棟でも日本チーム対ドイツチームに分かれ、熱い闘いを繰り広げました！サッカーボールを蹴ったり、投げたり、レーンに乗せて転がしたりと、それぞれの選手が得意な方法でピッチに並べられた得点ピンを倒します。中にはマイナスピンもあり、“イエローカード！”“レッドカード！！”と審判の笛が鳴り響き、倒れたピンの得点に一喜一憂しながら、試合を楽しみました。旗やメガホンを持って応援する姿もたくさん見られ、会場の一体感を感じられる時間を過ごすことが出来ました！



暦の上では“大雪”を過ぎ、あちこちのツリーが目を楽しませてくれる季節となった、12月。

3病棟も療育棟にて、5名のお誕生者のお祝いを行いました。

看護師・指導室の職員が愉快的トナカイや可愛らしいサンタに変身し、マライアキャリーのクリスマスソングに合わせ、ダンスを踊りながら入場するという、賑やかな会の始まりです。もみの木に扮した職員をめぐって、緑色の輪っかを投げ、頭や両腕に沢山の輪投げをしました。会の最後には、全員で“あわてんぼうのサンタクロース”に合わせ、タンブリンや鈴を鳴らしながら、大合唱！終始クリスマスモードに包まれ、私たち職員も、笑顔のプレゼントを沢山顶き、とても楽しい会となりました。



山形県病院協議会 永年勤続表彰伝達式

庶務係長 相馬知加子

11月8日(火)山形県病院協議会永年勤続表彰伝達式を執り行いました。
コロナ禍ということもあり、当院での表彰伝達式開催となり、この日出席された4名の職員に院長より表彰状が贈られました。

院長からはこれからも山形県の医療を担って行ってほしいというお言葉が述べられました。

最後に伝達式終了後には全員で記念撮影を行い、締めくくりました。



※集合写真撮影時のみ一時的にマスクを外していただきました

誓いの式



48回生 関口 隼斗

10月28日、私たち48回生は誓いの式を行っていただきました。

入学当初、私たちは「積極的に自ら学び、知識を身につけて、責任ある看護師を目指す」という共通した看護職像を目標として掲げ、学習してきました。6月の見学実習で、観察した環境は、患者さん一人ひとりに合わせたものになっていました。患者さんの生活環境は安全であるのと同時にストレスもかかっていることがわかりました。

私たちは「人の命を預かる」看護を学んでいます。まだまだ知識も技術も未熟ではありますが、それらを身に着けるために日々の努力を怠らず、「看護学生」としての自覚をもって何事にも全力で取り組んでいきます。

職場紹介

事務

企画課は、4月に課長の配置換、新規採用2名、10月に契約係1名が増となり現状総勢12名により、必要物品の購入・修理、建物の修繕等スムーズに行い病院運営に支障を来さないよう心がけております。

医事・経営企画室は、受付・会計といった窓口業務や国保連合会等への保険請求業務を行っています。患者さんが最初と最後に接する部署でもあるため、心遣いを忘れずに業務にあたっています。

管理課は職員の給与、労働環境整備、研修業務等を行っています。患者さんと接する機会は多くはありませんが、職員が快適に働くことができれば、患者さんやそのご家族が気持ちよく当院を利用していただくと考え、日々取り組んでいます。



企画課



医事・経営企画室



管理課



2023年元旦
ぴよ〜んと飛んで!!



栄養管理室 副調理師長 木村 誉

『山形病院 おせち料理』

新年あけましておめでとうございます

患者さんの笑顔を思い浮かべながら心を込めておせち料理を仕上げました。今年も食の情報を発信いたしますので、乞う！ご期待下さい！！

皆様にとって素敵な1年でありますように。。

栄養管理室一同



一般食(圓形の料理)



移行食(1cm角の軟らか料理)



嚥下食(ゼリー状の料理)



2023



年男・年女より新年のご挨拶を 申し上げます。



看護部長 鈴木 弘美



新年明けましておめでとうございます。
山形病院就任一年目の昨年は感染対策・クラスター・N95というワードが常に頭の中を巡っていました。今年は成長した看護部をおみせできるように看護部が一丸となって取り組んでいきます。今年もよろしく願います。



理学療法士長 阿部 透



昨年は異動年度ということもあり、慣れることに精いっぱい的一年でした。今年は兎年です。「飛躍する」年や時代の区切り、「契機になる」年と言われたりしているようです。今年は新しいことにも挑戦しながら、卵のように明るく跳び跳ねて様々な問題に負けないように頑張っていこうと思います。



事務部 企画課 佐竹萌永実



昨年は私にとって変化の1年でした。4月から社会人としてのスタートを切ったばかりの私は、今も周囲の方々から学び、助けていただくばかりの毎日です。今年は2年目として自ら行動することを大切に、多くの経験を通して山形病院の支えとなれるよう精進していきます。



療育指導室 児童指導員 宍戸 悠悟



新年あけましておめでとうございます。
2022年は社会人1年目でしたが、あっという間に時は過ぎ、2023年を迎えることができました。昨年は体調を崩すことなく1年を送ることができ、今年も健康第一で過ごせればと思います。今年は、これまで仕事で学んだことを活かし、自らで考えて行動できるようになっていきたいと思っています。まだまだ未熟ですが、利用者さんが毎日を明るく楽しく過ごせるような雰囲気を作れるように、自分の明るさと元気を活かして努力して参ります。

国立病院機構 山形病院 外来診療担当表

令和5年1月1日

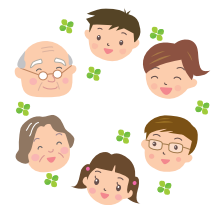
区 分	月	火	水	木	金	備 考
脳 神 経 内 科 (頭痛・めまい・しびれ)	亀谷紫芙美	川並 透	黒川 克朗	亀谷紫芙美	川並 透	8:40~12:00
	宮林 隆夫	小林 和夫	山川 達志	小山 信吾	小林 和夫	
				加藤 丈夫		
認 知 症 外 来	※	—	—	—	※	月曜日 8:40~12:00 金曜日 12:30~17:00 ※当院脳神経内科医対応
呼 吸 器 内 科	—	布宮 慶子	寺下 京子	—	寺下 京子	8:40~12:00
循 環 器 内 科(※)	—	太田 郁郎	—	—	—	※病棟対応13:00~
小 児 科 (※)	渡邊 王志	石川 明雄 <山形大> 中村 和幸 <山形大>	松木 惇 <山形大> 荻野 大助 <山形大>	目黒 亨 <山形大> 上村 雄太 <山形大>	目黒 亨 <山形大> 石垣 隆介 <山形大>	※病棟対応
精 神 科	—	—	齋藤 裕介 (第2・第4)	—	—	9:00~12:00
て ん か ん	守川 新人	宇留野勝久	宇留野勝久 守川 新人 (新患)	守川 新人	宇留野勝久	8:40~12:00 (水曜日は新患)
	—	—	—	—	宇留野勝久	14:00~15:00
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	—	豊岡 志保	—	豊岡 志保	—	9:00~12:00
脳 神 経 外 科	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	9:00~12:00
手 話 外 来	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	(9:00~15:00)
整 形 外 科	<山形大> (第4)	—	—	—	<山形大> (第2・第4)	9:30~12:00
放 射 線 科	—	桐井 一邦 <山形大>	—	—	鹿戸 将史 <山形大>	13:30~16:00
歯 科	—	—	<山形大>	<山形大>	—	水曜日 14:00~16:00 木曜日 13:30~16:00
高 次 脳 機 能 障 が い 科	—	—	伊関 千書 (隔週) <山形大>	鈴木 匡子 (隔週) <東北大>	—	9:30~12:30 予約窓口:高次脳機能 障がい者支援センター TEL.023-681-3394
糖 尿 病	—	—	—	<山形大>	—	8:40~12:00
耳 鼻 咽 喉 科	—	—	—	<山形大>	—	15:00~
皮 膚 科(※)	—	—	—	—	荒木 由梨 <山形大>	※病棟対応(第2・第4金曜日)

(学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。)

- ◆初 診 受 付: 平日8:30~11:30
- ◆再診(予約外)受付: 平日8:30~11:30
- ◆休 診 日: 土曜日、日曜日、祝日、
12月29日~1月3日
- ◆急患は随時受け付けますが、来院前に必ず
ご連絡ください。
(☎023-684-5566)
- ◆紹介状をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示ください。
- ◆地域医療連携室
(☎代表023-684-5566/FAX023-681-9477)

編集後記

ある日、突然のスコール。バスで来院した方が「病院玄関先で降ろしてくれたので雨に濡れなくてすんだの」と笑顔。運転手さんに「乗車の方がとても喜んでいました！ありがとうございます」と声を掛けたら照れ笑い。ステキな配慮に感動し、私もホックリ笑顔になりました。(Squall)



独立行政法人 国立病院機構山形病院

〒990-0876 山形市行才126-2

TEL023-684-5566(代)

FAX023-684-2519(代)

発行責任者 宇留野勝久

編 集 山形病院広報委員会

